

## アコヤの材色について

アコヤは、ラジアタパインを製材した材料を、人工乾燥した後、アセチル化処理されて作られます。

人工乾燥とアセチル化処理の両方の工程で、材料の表面は、薄茶色に変化します。また、アセチル化処理する前の人工乾燥の過程では、乾燥に従って材料の内部から外へ放出される水分と共に、いわゆるアクが材料の表層に移動し黒い変色部分となります。材料の内部は、色白でラジアタパイン本来の色です。



写真① 製材されたままの状態のアコヤ



白く筋になっている所は、人工乾燥及びアセチル化処理の工程で栈木が置かれていた所です。栈木が置かれていた表面は、材色の変化が少ないことが判ります。



また、表面からはアクの黒い変色は判別できません。



写真② 表面が1～2mm削られたアコヤ

栈木の白い筋はまだ残っています。



アクの黒い変色部分が現れています。



写真③ 表面が3～4mm削られたアコヤ

黒い変色部分は無くなってきています。



写真④ 表面が5～6mm削られたアコヤ

変色も無く、ラジアタパイン材本来の色白の綺麗な部分が現れています。

